

## 【社 会】

### 〈問題構成〉

本校の社会の入試問題は、社会的事象に対する関心の有無、基本的知識の確認、それぞれの事象の相互関連性やその背景について理解する力を問うことに重点を置いて出題しています。

問題は、各回とも歴史分野、地理分野、公民分野からそれぞれ1題ずつ、計3題の大問で構成されています。その際、小学校における社会科の履修状況を考慮して、歴史分野・地理分野の大問に比べ、公民分野の大問の配点は少なめに設定しています。問題傾向は、各回とも大きな違いはありませんが、2016年度入試の各回ごとの出題テーマを以下にあげておきます。

#### 第1回

- ① 歴史上の「絵」をテーマにした歴史分野の問題
- ② 産業観光をテーマにした地理分野の問題
- ③ 同性婚をテーマにした公民分野の問題

#### 第2回

- ① 裁判の歴史をテーマにした歴史分野の問題
- ② 日本の貿易をテーマにした地理分野の問題
- ③ 憲法改正をテーマにした公民分野の問題

#### 第3回

- ① ハンコの歴史をテーマにした歴史分野の問題
- ② 東北地方の地誌をテーマにした地理分野の問題
- ③ 「18歳選挙権」をテーマにした公民分野の問題

以上のように、各大問はあるテーマにそってつくられています。実際の各設問はそのテーマに限定せず、幅広い分野から出題しています。ですから、どこかの分野や範囲に集中的に力を入れるということではなく、まずは基本的知識をしっかりと確認し、全体をまんべんなく学ぶ堅実な勉強を心がけてほしいと思います。設問の数は、2016年度第1回は39問、第2回は38問、第3回は41問でした。

設問の形式は、基本的な用語の知識を確認する記述式問題をはじめ、ある事柄についての正確な理解や詳細な知識を問う正誤判定問題、社会的用語をはじめ地図やグラフ内の記号などを選択させる問題、できごとが起こった順番に並べかえる問題など、多様です。また、本校では、図表の読み取りや歴史上の事象・現代社会の問題の背景にある因果関係などを問う、1行程度（字数指定の場合もあります）の記述問題を出題しています。こうした問題に対処するためには、普段から社会的用語の意味や、あるできごとが起きた背景や理由を探究する姿勢を持つことが大切になります。また、資料の分析能力を問うための図表・統計問題や社会的な関心の有無を問うための時事問題なども多く出題しています。その際、問題文の空欄や下線部に関する設問以外も出題する場合があります。教科書や参考書等に掲載されているさまざまな資料をじっくり読み込むことや、日頃から新聞の記事やテレビのニュースなどをよく見て「現在」に対する問題意識や関心を高め、それと普段学習している事柄を結びつけて考えることが大切になります。

なお、社会の入試問題では、問題文中の空欄補充や、用語を答える単純な記述問題に関して、原則として漢字指定や文字数指定、場合によってカタカナ指定などによる解答を求めています。そのため、参考書や教科書などで漢字で書かれている用語については、漢字で書けるようにしておく必要があります。解答にあたっては、各設問ごとの指示に従って解答するように心がけてください。

また、分野によっては問題文を設けずに出題される場合もあります。

### 〈歴史分野の問題傾向〉

本校の入試では、全時代・全分野からまんべんなく出題するように心がけていますので、時代・分野による弱点をつくらないようにして下さい。第3回の①問5は、「平将門の乱よりも後のできごと」に関する出題です。平将門の乱は10世紀半ば（935年）に発生しました。平安時代中ごろに現れた武士による、朝廷に対する最初の大規模な反乱でした。アの藤原道長は娘を天皇の后とすることで、天皇と血縁関係を結び、摂関政治の全盛をきずきました。これは、11世紀前半のことです。イの院政の開始は、摂関政治以降に、藤原氏を母にもたない天皇が即位するようになった11世紀後半のことです。1086年に、白河天皇が上皇となって、摂関に代わって政治の実権をにぎりました。なお後白河天皇は、その名前からもわかるように白河天皇よりも後に上皇になって、平治の乱のころから源平の争乱期にかけて院政を行った人物です。したがってイは、院政の開始の時期は平将門の乱よりも後のこととして正しいのですが、前半の内容が誤りです。ウの遣唐使の停止は894年のことです。菅原道真是天皇の信頼を得て活躍していましたが、藤原氏によって大宰府に左遷されました。エは、坂上田村麻呂が桓武天皇によって征夷大將軍に任命された人物であることから、平安時代初期について述べた文だとわかります。よって、正解はアです。イは「選択肢の中の誤りを見つける」ことで誤りと判断できますが、ウ・エの文章は説明としては正しいものなので、消去法は使えません。選択肢の文章がどのような背景で起きたできごとなのか理解できていないと正解できないのです。本校では、知識の量よりも、各時代の個々のできごとを歴史の中にきちんと位置づけて理解する力を求めています。あるできごとがどの時代の特徴を表しているのか、さらに前後の時代とどのような関連や相違があるのか、といった点まで意識して学習して下さい。

また、このような力が試される設問として、各回ともおおまかな歴史の流れを問う問題を並べかえの形式で出題しています。並べかえというと、「年号をまる暗記して順番にする」ととらえられがちですが、本校では、歴史上の人物やできごとの流れをその時期の時代背景の中で大きくとらえて位置づけることを求めています。例えば、第2回の①問10は、第一次世界大戦以降の日本と外国との関係に関する問題ですが、A～Cの正確な年代を記憶しておく必要はありません。Aの二十一か条の要求は、第一次世界大戦中、ヨーロッパで戦闘が行われている間に、日本が中国での勢力を強めようと承認させたものです。戦後、国際連盟が結成され、日本も常任理事国として参加しました。その後、柳条湖事件を機に発生した満州事変の結果、日本は満州を占領し、国際的な批判をさけるために「満州国」を建国しました。しかし国際連盟は日本の行為を非難し、「満州国」を承認しませんでした。これを受けて、Cのように日本は国際連盟を脱退し、国際社会から孤立していきました。日中戦争などで中国侵略をさらに進めた日本は、ドイツ・イタリアと同盟を結び、中国だけでなく東南アジアなど南方への侵略も強めようとしました。その際、北方から攻撃されないように、Bの日ソ中立条約を結んだのです。このように、時代の枠組み、この問題では特に、日本がアジアで侵略を強める過程を中心とした枠組みで並びかえることにより、「イ（A→C→B）」という正解を導くことができます。並べかえ問題は必ず出題され、正解できるかどうかは重要なポイントとなります。日ごろの学習の中で、それぞれの事件・できごとが歴史の流れの中でどのような意味を持つのかを理解した上で記憶することを心がけて下さい。

### 第3回

① 問5 下線部⑤に関連して、平将門の乱よりも後のできごとについて述べた文として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 摂政や太政大臣などの地位について藤原道長が娘を次々と天皇の后とし、藤原氏の全盛期をきずいた。
  - イ 後白河天皇は、幼い皇子に天皇の位をゆずり、上皇となってひきつづき政治を行い、院政という新しい政治の形をきずいた。
  - ウ 遣唐使に任命された菅原道真が、派遣の停止を提案し、以後遣唐使は送られることはなかった。
  - エ 征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂が、東北地方に派遣され、蝦夷の抵抗をほぼおさえることに成功した。
- 〔正解 ア〕

### 第2回

① 問10 第一次世界大戦の勃発以降の日本と外国との関係について述べた次のA～Cの文を時期の古いものから順に並べかえるとどうなりますか。正しいものを後のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

- A 日本が中国に二十一か条の要求をつきつけた。
  - B 日本とソ連が日ソ中立条約を結んだ。
  - C 日本が国際連盟を脱退した。
- ア A→B→C      イ A→C→B      ウ B→A→C  
 エ B→C→A      オ C→A→B      カ C→B→A      〔正解 イ（A→C→B）〕

〈地理分野の問題傾向〉

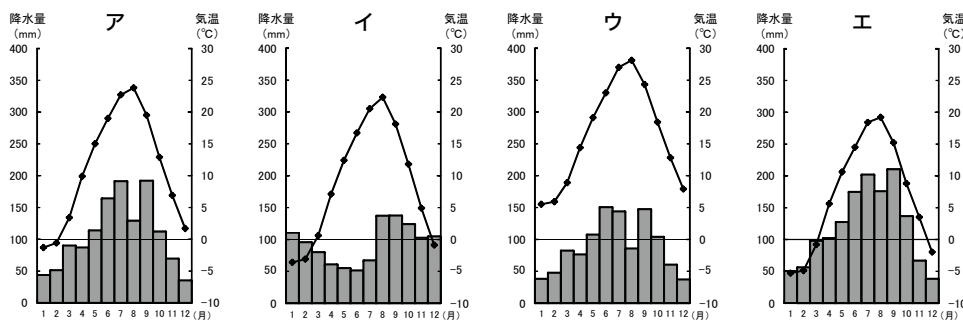
地理分野では、日本各地の自然や産業、世界地理の基本的理解、地図・グラフなどの読み取りを中心に出題しています。今年の入試問題でも、地図・グラフや統計資料の読み取り問題が多数出題されています。例えば、第1回の[2]問4（観光庁や日本政府観光局の資料から訪日外国人旅行者の動向を読み取る問題）や第2回の[2]問4（自動車組立工場の立地）、第3回の[2]問7（都道府県から漁業就業者数・食料自給率・総面積の資料の組み合わせを問う問題）などがその典型です。これらの問題は、普段からグラフや表をよく見ている人にとっては、解きやすい問題だったと思います。資料を活用することが地理学習の基本ですから、地名や地理用語だけをただ丸暗記することは避けたいものです。

第1回の[2]問9は、4つの雨温図（諏訪・札幌・野辺山・高松）から諏訪にあてはまるものを選ぶ問題です。同じ地方の中での雨温図の比較に慣れている人にとってはやや難しく思われるかもしれませんが、実は気温と降水量の形から簡単に判別することができます。まずウは、気温が他の3つと比べて明らかに高いことがわかります。これは最も南に位置し、瀬戸内気候で降水量も全般的に少ない高松とわかります。次にイは、他の3つとは違い、6月・7月の降水量が少ないことから、梅雨のない北海道の札幌であるとわかります。残るアとエは、よく見ると降水量の形が似ていることに気付くでしょう。これはともに中央高地に特徴的な雨温図ですが、ポイントは気温です。気温は緯度による変化と高度による変化があることを想起すれば、八ヶ岳山麓にある野辺山原は気温が低くなると考えられます。とりわけ夏の最高気温が20℃を下回る環境は、高原野菜の抑制栽培に最適と言えるでしょう。よってエが野辺山、アが諏訪ということになります。

第2回の[2]問8は、成田国際空港の貿易品目から、貿易額が大きくなる理由を問う問題です。ここでは設問文中にある「船舶輸送と比べて一度に多くの貨物を運ぶことができないにもかかわらず」が大きなヒントになっています。すなわち、貿易品目を見てみると、名古屋港などの海港で見られるような自動車、鉄鋼、石油などの重量があつてかさばる品目が一切見られないことがわかります。となると、表中にある集積回路や医薬品など、軽くて価格が高い品目であれば、仮に高額な航空貨物運賃を支払ったとしても、少ない量で大きな利益を上げることができると想像できるはずです。「軽薄短小・高付加価値」といったキーワードで知識として知っている人もいたかもしれませんが、こうした問題では、与えられた資料をヒントに想像力を働かせて考えることが何よりも重要になります。

第1回

[2] 問9 次のア～エの雨温図は、長野県の諏訪、北海道の札幌、長野県の野辺山、香川県の高松のいずれかのもので、このうち、諏訪にあてはまるものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



(正解 ア)

第2回

[2] 問8 成田国際空港は輸出額と輸入額を合わせた貿易総額が日本最大の貿易港です。航空輸送では船舶輸送に比べて一度に多くの貨物を運ぶことができないにもかかわらず、成田国際空港の貿易額が大きくなるのはなぜだと考えられますか。成田国際空港の輸出および輸入の上位5品目と金額、およびその割合(2014年)を示した次の表を参考にして1行で説明しなさい。

輸出	品目	金額(百万円)	割合(%)	輸入	品目	金額(百万円)	割合(%)
	科学光学機器	532,203	6.6		通信機	1,633,875	14.0
	集積回路	475,876	5.9		医薬品	1,096,084	9.4
	金(非貨幣用)	382,622	4.7		集積回路	1,083,275	9.3
	電気回路用品	312,772	3.9		コンピュータ	973,939	8.4
	半導体製造装置	264,474	3.3		科学光学機器	753,696	6.5
	合計	8,111,173	100.0		合計	11,662,069	100.0

(『日本国勢図会2015/16』より作成)

〈公民分野の問題傾向〉

公民分野では、日本国憲法の基礎的理解、国の政治や財政、地方自治、日本の平和主義と外交問題などを中心にしながらも、より広く国際的な問題に対する関心や知識があるかを問う問題も出題しています。その際、現実の社会の動きの背後にどのようなしくみがあり、どのような原理が働いているかということに対する知識と理解を問う問題が毎年出題されています。

例えば、第1回の[3]問7では、1ドルが100円から120円になった場合のドルの価値とアメリカへの輸出量への影響が問われています。ひょっとしたら皆さんは、「100円が120円になって金額は上がっているけれど、とりあえずは逆に考えて円安」とか、「円安＝輸出が増える」というような丸暗記で覚えているかもしれません。しかしこうした考え方では、多様な問題に対応することはできません。ここでは、時に見方を変えて考えることが大切です。まず、1ドルが100円から120円になることは、1ドル札1枚で手に入る日本円が20円増えることを意味しますから、アメリカから見た円の価値が低くなっているということがわかります。これを逆に見れば、今まで100円あれば1ドルが入ったのが、今度は120円出さなければ1ドルに交換できませんから、日本から見たドルの価値は高くなっていることとなります。次に、「アメリカへの輸出量」を「日本からの輸入量」と読み替えて、アメリカ側から考えてみましょう。となると、例えば日本円で100円の製品があったとして、それまでは1ドルで買う必要があったのが、1ドル=120円になれば、1ドルを支払ってもお釣りがくる計算になります。よって、アメリカでは日本製品が安くなって買いやすくなる⇒日本からの輸入が増える＝アメリカへの輸出が増える、ということになるでしょう。

一方、公民分野では、時事的なトピックを絡めた問題や、国際的な視点から知識を問うたり、考えてもらう問題も例年のように出題されています。例えば第3回の[3]問10では、20歳以上でなければできないことが問われています。アの結婚は、民法731条で男性は18歳、女性は16歳（ただし20歳未満である場合はともに父母（のいずれか）の同意が必要（同737条））と定められています。男性と女性の間に2歳の差があるのは、一般には身体的・精神的な成熟の違いに対する考慮があるとされていますが、明治時代以来の男尊女卑の考え方が残存しているものとして批判する意見もあります。イの普通自動車の運転免許とエのパスポートについては、道路交通法・旅券法という関係法令にそれぞれ18歳以上、20歳未満と明記されています。よってウの飲酒が正解です。国民投票法の制定により憲法改正の国民投票の投票年齢が18歳以上になり、昨年の公職選挙法改正でいわゆる「18歳選挙権」が話題となっていますが、日本では法律により成人と見なす年齢が異なることを知っておく必要があります。また、第3回の[3]問7では欧米諸国について問われていますが、アメリカでは今年の秋に大統領選挙が行われる予定であり、イギリスではEUからの離脱が議論されるなど、日本にも影響を及ぼす可能性のある話題に事欠きません。こうした時事的・国際的な問題に対応するためには、普段からテレビのニュースをよく見たり、新聞を読んだりする習慣をつけ、それを学校や塾で学ぶ知識と結びつけることが大切です。その際、単にニュースを聞き流すのではなく、その内容について、原因や影響も含めてじっくりと考えてみることも重要になるでしょう。

第1回

3

問7 例えば1ドルが100円から120円になったとすると、円に対するドルの価値はどうなりますか。また、日本からアメリカへの輸出品について、日本円での価格が変わらない場合、輸出量は一般的にどうなりますか。その組み合わせとして正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

(正解 ア)

	円に対するドルの価値	日本からアメリカへの輸出量
ア	高くなる	多くなる
イ	高くなる	少なくなる
ウ	安くなる	多くなる
エ	安くなる	少なくなる

第3回

3

問10 波線部㊸として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 結婚すること
- イ 普通自動車の運転免許を取得すること
- ウ 飲酒すること
- エ パスポート（旅券）を取得すること

(正解 ウ)

第3回

3

問7 波線部㊸の現在について述べた文として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア アメリカ合衆国の首都は、ニューヨークである。
- イ ドイツは、EU（ヨーロッパ連合）に加盟していない。
- ウ フランスは、通貨としてユーロを使用していない。
- エ イギリスは、議院内閣制を採用している。

(正解 エ)